

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信/国内/株式

2016年2月9日

★当ファンドは、2016年2月5日に第2期の決算を迎えました。

★本レポートでは、当ファンド設定から1年が経過したことを受け、設定来の国内株式市場の動向やファンドのパフォーマンスなどを振り返るとともに、今後の市場見通しやファンドの運用方針についてご報告いたします。

1. 設定来の国内株式市場の動向

当ファンド設定日(2015年2月6日)以降の国内株式市場は、堅調な企業業績や株主還元策を強化する動きなどが支援材料となり、2015年8月中旬まで上昇基調で推移しました。しかし、中国経済の減速に対する懸念などが高まり、9月下旬にかけて大きく下落しました。その後は、世界経済に対する過度な懸念が後退したことなどから、国内株式市場は12月上旬にかけて持ち直す展開となりましたが、2016年に入ると、中国経済の減速や原油価格の下落、中東地域等での地政学リスクの高まりなどをを受けて、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、国内株式市場は期末にかけて下落しました。【図表1】

規模別株価指数の推移を見ますと、円安ドル高基調を背景とした輸出関連銘柄の上昇や、株主還元策の強化を評価する動きなどを受け、2015年8月上旬にかけてのパフォーマンスは、主力大型株で構成される東証大型株指数が東証小型株指数を上回りました。国内株式市場が大幅に下落した以降では、内需関連銘柄の構成比率が高く、外部環境の影響が相対的に小さい東証小型株指数のパフォーマンスが東証大型株指数を上回りました。【図表2】

2. 当ファンドの運用と今後の見通し

当ファンドの運用につきましては、企業の利益成長ポテンシャルに着目した銘柄選別を行い、中小型株を中心に有望と考えられる銘柄を積極的に組み入れました。設定来の分配金再投資基準価額の騰落率は、参考指数としているTOPIX(東証株価指数)を下回りましたが、直近6ヵ月間では、6ヵ月、3ヵ月、1ヵ月とも、それぞれの期間でTOPIXを上回りました。【図表3】

世界的な景気減速や原油価格の下落に対する懸念が残ると想定されることや、世界的なマネーフローの見極めに時間を要すると思われることから、国内株式市場にとって、不安定な投資環境がしばらく継続することが予想されます。そのため、事業展開や業績面で外部環境の影響が相対的に小さいと考えられる内需関連銘柄に対する市場参加者の評価が今後高まってくると想定しております。

当ファンドでは、内需関連銘柄を多く含む中小型株や新興市場株に着目し、特徴のあるビジネスモデルなどにより、中長期的な利益成長が期待される銘柄への積極投資を継続しています。今後も利益成長期待の高い銘柄を選別していくことで、ファンドパフォーマンスの向上に努めてまいります。

【図表1】TOPIX(東証株価指数)の推移



【図表2】規模別株価指数の推移



【図表3】期間別騰落率

(作成基準日: 2016年2月5日)

	分配金再投資 基準価額	参考指数
1ヵ月前	▲ 7.8 %	▲ 9.0 %
3ヵ月前	▲ 4.3 %	▲ 12.0 %
6ヵ月前	▲ 12.8 %	▲ 17.8 %
設定来	▲ 6.6 %	▲ 2.9 %

- ※ 騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前の各月5日との比較。
- ※ 分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万円当たりの当初設定元本との比較。参考指数の設定来騰落率は、設定日前営業日の終値との比較。
- ※ 参考指数はTOPIX。QUICKデータを基に岡三アセットマネジメントが騰落率を算出。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

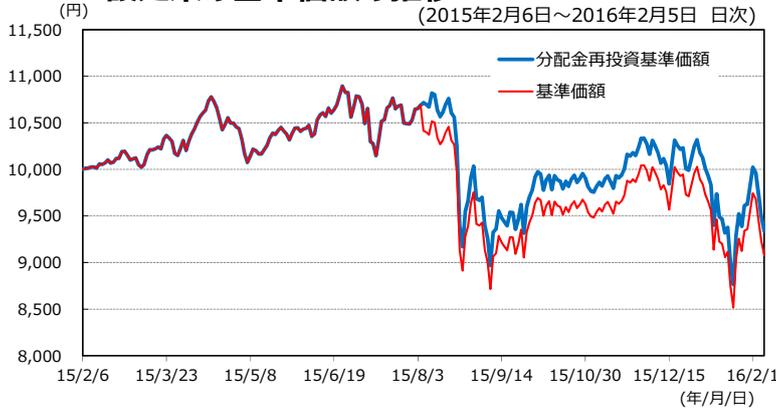
■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信/国内/株式

運用状況 (作成基準日: 2016年2月5日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	9,078円
純資産総額	8,172,566,993円
株式組入比率	95.0%
組入銘柄数	75銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

- ※ 左記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
- ※ 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	26.4 %
2	小売業	13.3 %
3	情報・通信業	10.7 %
4	化学	9.1 %
5	機械	7.4 %
6	電気機器	7.2 %
7	卸売業	7.2 %
8	建設業	3.1 %
9	不動産業	2.9 %
10	医薬品	2.3 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	セブテーニ・ホールディングス	5.0 %
2	あい ホールディングス	4.3 %
3	カカココム	3.6 %
4	ピーシーデポコーポレーション	3.2 %
5	日油	2.7 %
6	スタートトゥデイ	2.5 %
7	アイチ コーポレーション	2.5 %
8	トラスコ中山	2.5 %
9	ペパチドリーム	2.3 %
10	サカダイクス	2.3 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	15.8 %
東証1部小型株	58.9 %
東証1部その他	0.0 %
東証2部	3.2 %
JASDAQ	12.9 %
東証マザーズ	4.1 %

※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
※日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。



(作成: エクイティ運用部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信/国内/株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
藍澤証券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野証券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			
六和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第37号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)